

2025（令和7）年度 いずみ保育園 自己評価表

2026年 1月 15日 評価
評価者氏名 園長 十八公 浄滋
報告者氏名 主任 橘田 浩代

＜本園評価対象者＞
・主任1名 副主任2名 副主任補佐1名 保育士29名

1. 本園の教育・保育目標

保育理念・基本方針

保育園は、児童福祉法に基づき保育に欠ける乳幼児を保育することを目的とする児童福祉施設です。ここに入園している乳幼児が生涯にわたる人間形成の基礎を培う極めて重要な時期に、その生活時間の大半を過ごすところであるから、子どもの最善の利益を考慮し、その福祉を積極的に増進し、養護と教育が一体となって、豊かな人間性を持った子どもを育成することが保育の特性です。

子どもは豊かに伸びていく可能性をうちに秘めています。子どもが現在を最もよく生き、望ましい未来をつくりだす力の基礎を培うためにいずみ保育園の保育目標を次のように定め、人間像の形成をめざすものです。

根本精神

「あの子も この子も ほとけの子 どの子も どの子も たいせつに」

保育目標

1. 報恩 (ありがとうと いえる子)

2. 協力 (みんな なかよくできる子)

3. 健康 (つよい からだの子)

4. 慈悲 (おてつだいの できる子)

2. 評価項目 (A：大変良い B：良い C：一部検討を要する D：改善を要するの4段階評価です)

自己評価の観点	評価
1. 園の保育理念・保育方針・保育目標の理解について	
① 園の保育理念・保育方針・保育目標を理解し、かつ課題を共有している	B
＜改善点＞ - 今のままで良いと思うが、年度初めなどに全員で確認するようにするとさらに良いと思う。 「〇〇できるようにせねばならない」という意識を変え、個々の育ちを受け止めた保育を行い、今後も保護者の安心につなげていく。 - 子どもたちが伸び伸びと過ごし、自分で考えて行動できる力を身につけられるよう援助していきたい。 - 理解を深めるが共有はなかなかこまめにはできていないように感じる。 - 忘れがちなので、時々確認するようにしたい。 - 課題の共有を全員に周知させる難しさを感じる。 - 理解・共有を深められるようにしたい。 - 職員間で共通認識を持ち、どの子にも寄り添える態勢に努めたい。 - 改めて、就業規則等に目を通す機会を作るようにしたいと思います。（就業時に実施すればよかったです） - しっかり確認したいです。時々見るようにして忘れないようにしたいと思います。 - 理解を深めるが共有はなかなかこまめにはできていないように感じる。 - 忘れがちなので、時々確認するようにしたい。 - 夏の過ごし方をもう少し考えていきたい。 - 課題の共有を全員に周知させる難しさを感じる。	
2. 保育について	
① 一人ひとりの子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている	B
② 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定している	B
③ 評価、資料(初記録)を集積している	B

④ 園内清掃がなされ、清潔に保たれ、子供が心地よく過ごせるよう配慮している	A
⑤ 天候や子どもの活動にあわせ、温度・湿度・換気、照度など配慮している	A
⑥ 季節の草花など植える又は観賞する等、保育の中で子供が季節を感じるように配慮を行っている	B
⑦ 子どもの意欲を高めるような遊びの準備や配慮ができています	B
⑧ それぞれの子どもに関する必要な情報を共有している	B
⑨ 保育についての話し合いをよくしている	B
⑩ 保育士自身が楽しんで保育をしている	B
⑪ それぞれの役割を把握し、適切な動きができています	B
<改善点> ・天気の良い日は全クラス戸外に出るため、外遊びの時0歳、1歳児等が安心して遊べるコーナーや場所があると良い ・クラスに入った時、クラス担任と子どもの様子を話したりして子どもの様子を知るようにする。 ・保育に忙し過ぎるためか、日常でも目に入る場所の清掃がおろそかになっている。日々の生活に追われていることがある。 ・自分の役割をしっかりと理解し行動した上で、周りの職員への適切な声掛けなどをしたい。 ・日々の保育に追われ、細かい所の掃除ができていないことがあるので意識していく。 ・保育目標等、年度初めに職員間で読み合わせをし、それぞれの意識を高めて日々の保育を行っていく。 ・いろいろな情報を保育士間で共有しているつもりでいるが、勤務時間帯の違う職員がいるので漏れのないようにしたい。 ・子どもが過ごしやすい環境を保育者が整える。 ・他クラスの先生方と保育の話をする機会が普段もう少しあると、色々な先生との交流や情報共有をすることができると思う。（順番に休憩時間を取る等）そうすることで保育中は必要なことだけ話し、子どもに集中できることもあるのでは？と感じる。 ・自然に触れる機会や、行事を増やせると良いと思った。 ・0歳児クラスなので、月齢差でどうしても配置の関係上、戸外へ出られない日がある。 ・職員の数が多く、情報の共有をしづらいと感じることがある。 ・夏の過ごし方をもう少し考えていきたい。 ・⑥乳児クラスでも、種を集めたり色水遊びができる植物など植えたい。 ・日頃の保育について話し合う時間がない。（少ない） ・重点目標を確認、理解し、目標を設定できるようにしたい。 ・時々ネガティブな気持ちになってしまうことがあるので、いつでも笑顔でいられるようにしていきたい。 ・遊びにもっと創意工夫をし、楽しい空間作りをしていきたいです。 ・保育に入る前に子どもの状況の把握をする。 ・⑨・⑪補助的な割合と思っていますが、状況に応じて対応が必要と強く感じています。 ・クラスの先生方とのコミュニケーションがもっと必要と感じます。 ・いろいろやりたいこと、やってみたいことはあるが、書類などに追われてしまうことがある。簡易化していったほしい。 ・0歳児クラスなので、月齢差でどうしても配置の関係上、戸外へ出られない日がある。 ・職員の人数が多く、情報の共有がしづらいと感じることがある。	
3. 健康管理について	
① 日々の園児の健康状態を観察し、一人ひとりの体調に合わせた保育を心がけている	A
② 玩具、遊具等については、常に衛生的に保持している	B
③ 乳幼児突然死症候群(SIDS)や感染症等の予防の対策やマニュアルが用意されている	A
<改善点> ・前日体調を崩して早帰りした子どもについて、翌朝の登園時に保護者に対して帰宅後や朝の様子を聞いたりして担任に知らせられるようにする。 ・コロナ禍の際は特に清掃にも力を入れていたが、日々の使用されたおもちゃ等の消毒などが手薄になっている。 ・室内の玩具の消毒をもう少し頻度高く行いたい。 ・玩具や遊具は使い終わった後毎回消毒をしているわけではないので、こまめに行うようにする。 ・SIDSのチェック表の変更点について徹底していきたい。 ・玩具等を消毒する時間がなく、“常に”とは言えない。	

・コロナ等で細かく消毒を行っていた時に比べ、消毒の仕方、頻度が減ってしまっているの見直していきたい。 ・ケガ等、朝の受け入れの際すぐ気付き、保護者と共有していきたい。 ・もう少しこまめに玩具の消毒をしていきたい。 ・体調不良の子は別室にて保育し、お迎えを待つようにしている。 ・玩具の消毒は、つつい後回しになってしまっている。 ・コロナの頃に比べると玩具の消毒の回数が減ったように思う。 ・②人形など洗たくする頻度を増やしたい。 ・もう少し玩具の消毒などしてもいいのではないかと思う。 ・玩具の消毒は燻蒸ですべてされているのか？（全く消毒していないので） ・日々の清掃の中に、玩具の衛生管理も加えるようにしたい。 ・子どもが口に入れた玩具は水洗いするが、消毒まではできていなかった。 ・玩具、遊具等、衛生的に使用できる様心掛けている。 ・鼻水、咳など清潔に保ち、手洗い、マスクなど自分が感染源にならないように心掛ける。 ・部屋の玩具は定期的に消毒などできていないため、行うようにしたい。 ・玩具の劣化、破損による数の減少、絵本、図鑑の破損の補修と補充。 ・特に感染時や小さな年齢が口にした玩具などは、いつもより消毒回数を増やしていきたい。 ・加湿器を利用する（湿度の管理）。玩具の消毒のタイミング。 ・②乳児クラスのおもちゃの消毒に気付いた時やるが、忙しいと後回しになり、できない事もあります。 ・ぬいぐるみなどは定期的に洗濯などをして衛生的にしていきたい。 ・もう少しこまめに玩具の消毒をしていきたい。 ・体調不良の子は別室にて保育し、お迎えを待つようにしている。 ・玩具の消毒は、つつい後回しになってしまっている。 ・コロナの頃に比べると、玩具の消毒の回数が減ったように思う。		
4. 行事について		
①	行事の種類や実施回数は適切である	B
②	行事のねらいを計画や実施に十分に生かしている	B
<改善点> ・参加していないが、様子を聞いて子どもとの対話を楽しめるようにしたい。 ・内容を検討していくことが必要である。（縦割り保育や混合保育等） ・行事等の回数が多く、一週間行事で埋まってしまうことがあるので検討した方が良いのではないかと考える。 ・行事についてはその都度話し合っ “子どもにとって” “必要性”などを更新していけると良い。 ・年齢に合ったねらいを保育士間で共有し、無理なく参加する。 ・季節、月ごと行事もあり、参加ができています。 ・年齢によってねらいや規模を考慮していきたい。 ・日頃の様子が分かるように工夫していると思う。（特に幼児クラスは） ・年齢に合わせた行事の楽しみ方ができているので継続したい。 ・子ども主体的に尊重した行事運営だと思います。 ・担任でない職員も、行事のねらいや目標を知れる機会があると、同じ目標をもって練習ができると思います。 ・年齢によってねらいや規模を考慮していきたい。		
5. 食育について		
①	食育を通して子供たちが楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫している	B
②	旬のものや季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている	B
③	調理担当者と子どものコミュニケーションが図られるようにしている	C
<改善点> ・0歳児クラスの後期食完了期ごはんがいつも固いように思っています。（食べてみています。） ・新メンバーになったので、これからも保育士と連携を取りスムーズに進めて欲しい。 ・今年は給食に振り回され気味で、子どもたちの食育についても発表が見られなかった。 ・今後は給食室の先生方とコミュニケーションを図ることで保護者・子ども・調理担当の三者の関りが広がり深まると良いと思う。 ・幼児部はクッキングがあるが、未満時には食育の機会が少なく感じるので、野菜や果物に触れたり、匂いを嗅ぐような機会が増えると良いと思う。 ・クッキングができたらよかった。また、食文化について給食の先生からのお話等の機会があると良いと感じた。		

- ・給食室との連携がなかなかうまく取れなかったので、今後コミュニケーションを取りつつ改善していきたい。
- ・食材として季節のものが出ているが、その説明や、食育に繋がることもしていかなければいけない。
- ・園の中ではもちろん、クラス内の活動の中でも普段から少しずつ食材や食育に触れ、食に関する興味を広げられるようにしていきたい。
- ・給食の先生と一緒に食事をとったり、行事などで一緒に作ったりと、もう少しコミュニケーションなどがとれる機会があれば良いと思う。
- ・調理師、栄養士と連携を取り、食文化について知っていけるようにしていきたい。
- ・クラスの色んな職員が、調理担当者とコミュニケーションをとれるようにしていきたい。
- ・調理担当者と保育者も、コミュニケーションを図る機会が増えるとよいと思う。
- ・食べている様子を見に来て欲しい。
- ・調理担当の先生とのコミュニケーションの場がもっと増えればなと思う。
- ・②材料の実物などを見せたい。
- ・自分たちで育てた野菜でクッキングをしたり、クイズをしたり、栄養士からの働きかけがあっても良いのかなと思う。
- ・個々に合わせて食べる楽しみを伝えられるようにしていきたい。
- ・調理担当者と話す機会があまりなかった。
- ・0歳児で食べるのが楽しみな子と、苦手な子がいますが、少しでも食べ、味わえることが楽しくなるように心掛けていきます。
- ・調理現場を見学したり、調理担当者ともう少し触れ合う機会が増えるといいなと思います。
- ・年齢に合った味、固さを考えて料理して数人で確認していくことも大切で、常に心掛けていくと良いと思う。
- ・職員給食が始まり、子どもたちと同じメニューが食べられるのは良いと思います。
- ・おやつ内容ですが、行事や季節に関するものの提供があり、工夫されていると思います。
- ・給食の先生と一緒に食事をとったり、行事などで一緒に作ったりともう少しコミュニケーションなどがとれる機会があれば良いと思う。
- ・クラスのいろんな職員が、コミュニケーションをとれるようにしていきたい。（調理担当者と）
- ・調理担当者と保育者も、コミュニケーションを図る機会が増えるとよいと思う。
- ・食べている様子を見に来て欲しい。
- ・調理担当の先生とのコミュニケーションの場がもっと増えればなと思う。

自己評価の観点	評価
6. 運営について	
① 園長や主任・職員の役割分担と責任が明確にされ、園児や保護者への迅速な対応ができる体制がある	B
② 各種会議を適切かつ効率的に進めている	B
③ 打合せ回数、時間、内容は適切である	B
＜改善点＞ ・一年を通じ必要に応じた臨時の会議等に時間を作っている。話し合いに時間がかかり過ぎているところがある。 ・午睡時間に行う会議・打ち合わせなどは15時5分前には必ず終了できると良いと思う。 ・会議が多かったり、時間が過ぎてしまうことが多いので、保育の時間を意識してもらえると良い。 ・15：00までに会議が終了できるようにし、保育に影響が出ないようにする。 ・時間が押しがちである。 ・全員（参加できる人）が参加する会議をもう少し増やしても良いと思う。 ・担任一人ではなく、上の先生と一緒に保護者へ伝えることも必要だと感じることもある。（一度では聞いてもらえないことや、園ルールを伝える時など。） ・子どもの午睡明けにはクラスの先生がしっかりクラスに戻れるような打合せの時間配分だと良い。 ・防犯等の訓練は、前回行ってみてあらためて定期的に子供を交えてやっていく必要があると感じた。 ・クラス内の打ち合わせでも、しっかり自分から発言する力を身につけていきたい。 ・会議で抜ける職員分の補充が必要な時がある。 ・報告がうまく伝わらないと感じる時がある。 ・職員会議が長くなりがちだと思う時がある。事前に資料を配布し、読んだうえで参加する等すると良いかと思う。 ・終了時間を決めて行いたい。 ・クラスのリーダーをやっていると話し合いで抜けてしまう回数が多くなって少し大変そうだった。 ・こと細かく説明され、意見も言いやすく、とてもいい環境だと思います。	

・打ち合わせは必要であるが、リーダーの負担になっている部分もあるので、もう少し回数を減らすか時間を短くしてあげてほしい。 ・会議予定時間内の終了。 ・時間内に打ち合わせを進めて後の時間も考えていくと良いと思う。 ・良い雰囲気であるが故に、話が脱線したり、一部だけで話しが進んでいく事があるため、時間がなくなり、最後がかけ足になる事が多い。要点をすぐ理解できるようになりたいです。 ・いつも思うのですが、非常勤勤務でも勤務しやすくご配慮いただいています、全体の反省会等は終了時間の延長があまりないと助かります。 ・会議などは15時を過ぎてしまうことが多い為、時間内に終わるようにし、報告の時間もきちんとあるようにしてほしい。 ・職員会議が長くなりがちだと思う時がある。事前に資料を配布し読んだ上で参加する等した方が良いと思う。	
7. 保健・安全指導について	
① 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じている	B
② 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施している	A
③ 事故や災害に適應できるマニュアルをすぐに見ることができるようにしている	B
④ 廊下に落ちているものを拾ったり、トイレやベランダのスリッパを揃える心がけをしている	A
⑤ 室内の衛生、クラス廻りの清掃に心がけ気持ち良い環境に心がけている	B
<改善点> ・トイレのスリッパや階段のゴミ等、気をつけて見ている。 ・避難訓練は職員に知らせず行ったり、早番や遅番時間にも行うことにより実践的になると思う。 ・細かい所まで掃除に手がかけられていない。 ・テラスなども定期的に清掃する時間をつくっていきたい。 ・パッとすぐみられるマニュアルを（1冊）つくっていきたい（バラバラなので）。 ・マニュアル内容をしっかり把握しておきたい。 ・防犯等の訓練は前回は行って改めて定期的に子ども交えてやっていく必要があると感じた。 ・お掃除に入らせて頂く事が多いので、なるべく丁寧に気付いた所をきれいにしたいと思い取り組んでいます。	
8. 研修・研究について	
① 実践研究に取り組み、日常の保育に生かし、子どもの育ちに反映させている	B
② 部内・部外研修への参加態勢の充実を図っている	A
③ 研修報告を園内で実施している	B
<改善点> ・全体的な研修に参加することができないクラス（ひよこ、うさぎ、ぞう）についても日常的に接することがあるため様子が知りたい ・研修参加者の報告は必ず回覧している。 ・たくさん研修に参加させて頂きとてもありがたい。研修報告は回覧だけでなく、口頭で行う機会が少し増えると良いと思う。 ・反映できそうなものから少しずつ取り入れるよう心掛ける。 ・自分の中で保育がマンネリ化してしまい、もっと研究しようと向上心に欠けてしまっているので、少しずつ変えていきたい。 ・研修で学んだことを、保育でも生かしてきたい。 ・研修報告を直接聞くような時間をつくっていきたい。 ・研修の報告書をなかなかじっくり読めていない。 ・研修報告が分かりやすくよく理解できるので継続していきたい。 ・みなさんの研修報告を読み、資料として欲しい時が多々あり、自分の保育に生かしていきたい。 ・研修は新しい事を知ることができて、時間的に普段接しない先生方と一緒できるのも楽しいです。	
9. 情報について	
① 園児の個人記録は個人情報保護法に基づいて管理・保管している	A
② 園内で知り得た事柄について守秘義務を徹底している	A
③ 各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理している	B
<改善点>	

・情報も変化するので、3カ月に1回程度の定期的な会議も必要である。 ・表簿の方法等を見直し、子どもと向き合う時間を増やし、保育の質の向上に繋げていく。 ・勤務時間内になかなか事務作業が終わらない。 ・時間内に終わらないと持ち帰りになってしまうので、できる時間がもう少し作れるように工夫していきたい。 ・時々、持ち帰って書類を書いてしまっているため、できる限り園内で処理したい。 ・ファイリングの際に枚数確認などダブルチェックをしていきたい。 ・②今後も徹底して気を付けます。	
10. 設備について	
① 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っている	A
② 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用している	A
<改善点> ・掲示物は見やすく良いが、掲示物が剥がれたら貼りなおした方が良い。 ・安全点検や、気になる所を用務員に伝えるための伝言板記入が実施されている。 ・掲示板に入り切っていないことが多いので、保護者の方が見やすいようにしていきたい。 ・ヒヤリハットをさらに有効に活用し、安全を図っていく。 ・掲示板+口頭などによって保護者にしっかり伝わるようにしたい。保護者と情報を共有して信頼関係を作っていきたい。 ・掲示板を積極的に見てもらえるよう周知を図る。 ・掲示場所がせまく、いっぱいになってしまうことがあるので、おしらせやドキュメンテーション等、少しずつルクミー等を使って保護者へ伝えても良いのではと感じる。 ・掲示は分かりやすくのせている。ずっと貼りっぱなしにならないようにしたい。 ・時々貼ったままの掲示板がでてきてしまうので、貼り替えや処理をこまめに行っていきたい。 ・簡潔に内容を伝え、「伝わる」ことを意識したい。 ・施設の各所に留意していきます。 ・掲示が多くなると見ない方も増えてくるので、アプリなどを活用していつでも良いのではないかと思う。 ・門前のぞうの掲示板・・・暗くなくても見えるようになると尚良いと思います。 ・②古い掲示は外し、見やすく伝わりやすさを考えて掲示するよう心がける。 ・設備に不具合があるとすぐに対応してもらえてありがたいです。 ・確実には分からないのですが、点検作業の様子を目にしている。	
11. 保護者支援について	
① 子どもの送迎時に子どもの様子を伝えあうようにしている	B
② クラス懇談や個別懇談を行っている	B
③ 入園説明会やクラスごとの懇談会などでは保育内容や目的をわかりやすく説明し、情報提供をおこなっている	B
④ 保育参観等の機会を設け、保護者に保育を理解してもらう工夫をしている	A
<改善点> ・登園時の保護者から担任への連絡事項をしっかり伝えるようにしたい。 ・幼児部の個人面談週間を、もっと計画的に設けた方が良い。 ・乳児部は参加保育の時に面談ができるが、幼児部は個別面談がないので一年に一回ほどあっても良いかもしれない。 ・個別での相談をしやすい雰囲気づくりをしていきたい。 ・保護者と情報共有をして、信頼関係をつくっていきたい。 ・個別での相談をしやすい雰囲気づくりをしていきたい。 ・今年の5歳児健診前に何人かの保護者の不安や園ではどうでしょうか？という声を聞いて、普段から何をしなくても、小さなことでも伝えていく必要性を感じた。個別の面談ができるということも、全体に伝えていっても良いのではと感じた。 ・5歳児健診の前に手紙で保護者にお知らせし、心配な家庭には発達に心配なことを記入してもらう書類を渡したが、全員に配ってもよいと思った。 ・保護者の相談は参加保育の時くらいで、じっくり話を聞く時間がないため、必要な人のためにも設けられるようにしたい。 ・子どもの様子を伝え合う回数を増やしていきたい。 ・懇談は他先生任せになっている。サポートが上手くできるよう努めたい。 ・時間的に難しい面もあるが、年に一度は面談を行うと良い。保護者の考えや課題などが共有しやすい。	

・①私は父兄に話すことはほとんどないのですが、皆さんにこやかに対応されています。	
12. 開かれた保育所づくりについて	
① 園庭や保育室等を、地域の子育て親子等に開放している	B
② 職員による園児に係る「子育て相談」は充実している	B
③ 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供している	B
④ 中高生の職場体験や実習生の受け入れ体制について、その意義や方針を全職員が理解している	B
⑤ 来客や地域の方に積極的に明るく挨拶をしている	A
<改善点> ・園庭や保育室を開放し、園児と一緒に交流の場を設けたり、子育て相談等に積極的に応じるようにする。 ・小学校への通信は継続しているので、主任や年長クラスの担当者だけでなく副主任にも一緒に取り組んでもらうようにしていきたい ・これからさらに地域に開かれ、交流が盛んになると良いと思う。 ・園見学は行っているが、園庭開放などは行っていないので月一回などから行えると良いと思う。 ・年長児が作った野菜を地域の方々に届けることができ、地域との繋がりを強化する一歩となった。今後も工夫していきたい。 ・専門機関のことについてなど、自分の中で多く、副園長先生をはじめ上の先生も話を聞いてなるほどと思うことが多い。実際そのような事案が起こらないとなかなかそれについて考えるということがないので、園全体で考える機会がもっとあってもいいように感じる。 ・以前のように園庭を理解できるとよい。 ・保護者にとってどんな情報が必要なのか確認していく。 ・自分自身が携わっていない事柄が多く、他先生任せになっている。職員間での情報の共有はできているので保護者への提供もしていきたい。 ・地域の子育て親子等に開放している告知は見ますが、時間帯が違うのか見たことがないです。運動会では、積極的にご参加いただいている様ですね。 ・保育士に少しでもあこがれ続けてもらえる効果・印象を高める方法を心がけていけたらよいと思う。 ・入園希望者むけの園見学が中心となっているため、地域との交流が活発になると園児も良い経験となると思う。 ・⑤担当クラスの移動の時など急いでいる時、少しおろそかになっているような気がするので、落ち着いてご挨拶するように気を付けたいです。	
13. 情報発信について	
① 園だより、ホームページ等で、情報発信に努めている	A
② 行事や子育て支援等を、地域や小学校に対して周知している	B
<改善点> ・情報発信については、やはりホームページやアプリをもっと活用して行くと、もっと保護者が目を通してくれるのではと感じる。 ・子育て支援等、何があるか理解していない ・簡素化や電子化がなされていくといいと感じる。 ・園だより等、ネットで配信できるようになるとよい。 ・どんな情報を発信しているのかチェックする。 ・子どもたちと老人との交流を持ち、園のことを知ってもらうことも良いと思う。 ・ホームページに直近の様子を載せるようにすると良いと思います。 ・①行事ごとでの更新ができるように努めたい。 ・大雨や台風が予想される時に、電話での問い合わせが多くあったため、ホームページで災害時の対応を確認できると安心できると思います。 ・今回、自己評価記入にあたり、HP を久々に確認しました。マニュアル更新、研修等幅広く園の情報を発信されていると思いました。	

<その他>

- ・全体的に職員間の向上を目指し、研修会や反省会を度々行い、良い方向に向かっている（努力している）と思います。
- ・職員間や父兄とのトラブルもなく、園児も落ち着いた保育園生活ができていると思います。
- ・早番で早く帰ってしまうので、よく園の状況が見えないことが多い。
- ・「お互い様」の気持ちで仕事ができ、安心してお休みを取りやすくなっていることがとても良いことだと思います。
- ・先日イオンのスーパーで小学生の卒園児が声をかけてくれ、立ち話をしてきました。「先生まだいるの？」と聞かれたり、「何々先生まだいる。ベテランだからなあー」とか、楽しい会話ができました。やはり卒園児ってかわいいですね。それもいずみ保育園の強みなのかと感じたひと時でした。
- ・短時間の保育者であるため、保育者同士での関りが少ないので積極的に自分から話しかけて楽しく過ごせるよう工夫していきたい。
- ・時間に追われるとぎすぎすしてしまうことがあるので、ゆったりとした時間が取れるよう進めていきたい。
- ・早番時、保護者がかたまって話をする様子が見られるので、子供とのかかわりを増やしてもらえると良いかと思います。
- ・三役会議や臨時会議などを行った場合はリーダーへも報告・連絡・相談をして欲しい。
- ・すぐに上役に依頼するのではなく、自分の立場を踏まえ各自で対応できることは率先して対応して欲しい。
- ・実際、私の娘の保育園ではアプリを通してのお手紙や写真などが送られてきている。写真は園の様子がしっかり見れて嬉しい。（本園でもドキュメンテーションを写真に撮る親が多いので。）また、お手紙は保存したり、すぐ開けることで家だけでなく、出先でも確認することができるのがとてもありがたいと感じている。手紙をなくしてしまったから見ていない、なども防げるのではと感じる。少しずつ取り入れていけたらと個人的に思います。
- ・入職して8ヶ月経て、保育理念で謳ってる「子どもの最善の利益」「豊かな人間性を持った子ども」の二点を鑑みて夕方みかんの部屋での合同保育の時に、ケンカや走り回っている子がいて、その時、声の掛け方（子どもが聞き入れるトーン）からだを制止させるにも優しく抱えれば、子どもの心にスーッとこちらの言葉が入るのかと、他の先生の対応をみて、勉強させていただいています。常にこの理念を大事に日々反省し、大事にしています。